

スキルアップ！！～地域共生社会の実現をめざして～

第4回大分県地域ケア会議アドバイザー強化現任者研修会

「ひきこもり状態にある人を地域でどう支えていくか」 ～地域で孤立しがちな人や家族を支えていくシステムの構築～

日本全国にひきこもりの状態にある人は、146万人いると言われ、最近では引きこもりの長期高齢化による「8050問題」を抱える事例が地域ケア会議等でも散見されます。そこで今回は、県内でご活躍されている矢野茂生氏に、行政と連携しながらひきこもりの状態にある人やその家族を支えていくシステムづくりや今後の取り組みについて、具体的な事例を通してご教授いただきます。地域ケア会議に関わっている方だけでなく、興味のある方はぜひご参加ください。



講師

特定非営利活動法人
おおいた子ども支援ネット
理事長 矢野 茂生 氏

<講師プロフィール>

公立中学校の教員として9年間勤務したのち、県立の児童自立支援施設で、児童自立支援専門員として13年間勤務。その間に大学院に進学し、「困難や生きづらさを抱えるこどもや家族」について研究を重ねる。

「緊急避難を要するこどもへの支援＝こどもシェルター構想」の協議会設置を経て2015年に「おおいた子ども支援ネット」を創業し、現在に至る。

日時 令和6年 **11月7日(木)**
19:00～21:00 (18:30～受付)

場所 オンライン (ZOOMミーティング)

対象 医療福祉従事者、市町村、地域包括支援センター 等

申込み QRコードまたは下記URLから
<https://forms.gle/vCean8JD6h5bgapRA>

連絡先 大分県作業療法協会 (後藤・武廣)
E-mail: oita.chiiki.ot@gmail.com

主催 大分県・大分県リハビリテーション専門職団体協議会

参加費
無料

11/4(月)締切



*本研修は2024年度PT協会の推進リーダーe-ラーニング免除事業、OT協会SIG対応ならびに訪問リハビリテーション管理者養成研修システムにおける実務者研修会の補助単位、大分県リハビリテーション専門職団体協議会認定地域包括ケアアドバイザー認定研修となります。